

スイス（一部フランス）を旅して（サンモリッツからシャモニー）

人生に一度はスイスに旅してみたいと思われる人が多いと思います。

私は漠然とマッターホルン、アイガー、モンブランの名峰を巡ってみたいと思い、7年程前から計画をしていました。

今回でヨーロッパは5回目となりますが、これで最後にしようと思い夫婦でツアーに参加しました。7月7日に成田を出発し、7月16日に帰ってきました。

ツアーはアルプス4大名峰を巡る2つの山岳ホテルに泊まるコースで贅沢なものでした。

	
<p>ピッツ・ベルニナ</p>	<p>ピッツ・ベルニナ展望台より</p>
<p>万年雪の名峰と氷河が広がっていて感動しました</p>	<p>お天気に恵まれ山々に手が届く感じでした</p>
	
<p>ループ橋</p>	<p>ヨーロッパリゾート地（サンモリッツ）</p>
<p>ベルニナ特急の車窓から 180度回転してます</p>	<p>北の高台からのサンモリッツ湖</p>
	
<p>氷河特急</p>	<p>氷河特急の車窓からの風景</p>
<p>サンモリッツからシェルマットへ</p>	<p>8時間の列車の旅でした</p>

	
氷河特急の車窓からの風景	シェルマットの駅

	
マッターホルンが一望できるリッフェルベルグホテル	ゴルナーグラード駅
ここで2泊 3日もとも天気が良く素晴らしい眺めでした	標高 3089mの駅です

		
マッターホルンの朝焼け	ツェルマットから見た マッターホルン	ゴルナーグラート展望台からの眺め
マッターホルンの朝焼けは素晴らしかった。5時過ぎから始まりました		

●スイスの歴史、現代スイス

スイスには後期氷河期から人が住んでいたとのこと。ヨーロッパの国々同様、色々な帝国の支配を受け近年 中立国として独立し、ヨーロッパ諸国から認められたとのこと。永世中立国としては、1815年にウィーン会議で明確になったとのこと。

その時スイスの中立こそが安全保障上、好ましいことを隣国に説いて永世中立国として認めてもらったとのこと。

スイスの人口は約 750 万人、公用語はドイツ語、フランス語、イタリア語、26 の州から構成される連邦国家です。

今回旅行をし感じた事は、貧富の差が少なく、とても豊かな国だと思いました。スイスはヨーロッパの中心で大国の支配、圧政を受け、苦難を乗り越えてきました。それがゆえに平和を大切にしている国だと思いました。

今回スイスからイタリアのティラノ、フランスのシャモニーにも行きましたが、国境はフリーパスでした。スイスはEUには加盟していませんが、人の移動は自由だということも知りました。EUには加盟していませんが、EUの良い所は取り入れての国策は見どころだとも思いました。



チューリッヒ国際空港にて少し寄付をしました



イタリアのティラノ駅

ティラノ駅にこんな看板が
日本の箱根鉄道と姉妹提携されてるとのことです



スイスとイタリア国境の旧検問所

今はフリーになっています

		
ユングフラウヨッホ	クライネシャイデック駅からのアイガー	旧シャイデイク
		宿泊したホテルからのアイガー
		
アイガーの山腹の中の駅	スフィンクス展望台	シャモニーの氷河
岩山を掘り抜いた駅です	天候に恵まれませんでしたので、大パノラマを想像してきました	街に迫ってくる感じがしました
		
アレッチ氷河	モンブラン	シャモニーの街（フランス）
展望台の下に広がる壮大な風景	2日間曇りでしたので、一瞬見たモンブランです	夕食で食べたムール貝がとてもおいしかったです

●スイスの環境対策について

スイスでは鉄道が進んでいます。特に、環境破壊を防ぐため自動車の乗り入れ制限がしっかりしています。気候変動のため、スイスの財産である氷河が毎年小さくなっているようですので、特に重要視されています。

	
ミーレンの住宅	シェルマツ住宅
かわいいきれいな街でした	
	
ホテルから屋根の改修工事中	トゥーン湖の住宅

●スイスの住宅について

スイスの冬はとても寒いと想像します。氷河が有り自然を守り、愛しながら生活している人々の国であると思います。サンモリッツ、シェルマツ、トゥーン湖畔、ミューレンでの住宅はゆっくりと見る事ができました。皆、自然に合わせて家造りをしていると思いました。偶然ですが、シャモニーで屋根の葺き替え工事中の家を見かけました。考え方はDウッドホームの屋根断熱工法と似ていました。寒さ対策、劣化対策が暑さ対策、劣化対策になるのではと思います。

2016年8月23日

Dウッドホーム

山木 敏夫